

公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

北開局技管第 139 号

平成 27 年 2 月 20 日

株式会社シビル 殿

国土交通省北海道開発局長



新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-3のとおり通知します。
なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

- 1 技術名称 : RC ネット工法(高エネルギー吸収型落石防護網)
- 2 NETIS登録番号 : HR-990117
- 3 評価結果 : 様式V-3のとおり
- 4 継続調査等の必要性について : 継続調査等を必要としない。
- 5 その他 :

この結果に基づき、当該技術の NETIS 登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初に NETIS 登録した翌年度の 4 月 1 日から起算して 10 年を経過した日まで延長されます。

また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません。

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日から起算して 10 日以内に北海道開発局長宛てに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

北海道開発局 新技術活用評価委員会

事務局 技術管理課 技術活用係

〒060-8511

北海道札幌市北区北 8 条西 2 丁目 札幌第 1 合同庁舎

TEL 011-709-2311

E-mail NETIS@hkd.mlit.go.jp

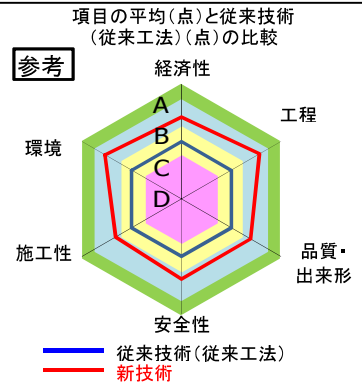
活用効果評価結果

平成 26 年度

北海道開発局新技術活用評価委員会

NETIS 情報	開発目標	安全性の向上、品質の向上、その他(性能の向上)			
	新技術登録番号	HR-990117	区分	工法	有用な技術の位置づけ 活用促進技術
	分類	付属施設 - 防護柵設置工 - 落石防止網(ロックネット)設置工 - 金網及びロープ設置			
	新技術名	RCネット工法(高エネルギー吸収型落石防護網)			
	比較する従来技術(従来工法)	ロックシェッド			
新技術の概要及び特徴		ワイヤーロープに緩衝装置を備えた高エネルギー吸収型落石防護網工			

活用効果評価	所見	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な土工作业が不要で、小規模な機械で施工できるため、工程短縮、経済性、施工性の向上が期待できる。 土工の必要がないため、地形の改変がなく、環境にやさしい技術である。 	
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査の継続は行わない。	
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ロープ足場による特殊作業であることに留意が必要である。 採用に当たっては維持管理費を含めた検討が必要である。 	
	当該技術における改良点及び要望	-	



参考	1	ダム法面補修工事	(従来技術: 落石防洞門(ロックシェッド)工	(活用型: 発注者指定型																			
	2	覆道補修工事	(従来技術: 落石防洞門(ロックシェッド)	(活用型: 発注者指定型																			
	3	道路改良工事	(従来技術: ロックシェッド	(活用型: 発注者指定型																			
	4	道路防災工事	(従来技術: 落石防護網、落石防護柵、落石防洞門工等	(活用型: 発注者指定型																			
	5	工事用道路防災工事	(従来技術: ロックシェッド	(活用型: 発注者指定型																			
	6	道路トンネル坑口防災工事	(従来技術: ロックシェッド	(活用型: 施工者希望型(契約後提案)																			
	7	ダム管理用道路法面対策工事	(従来技術: ロックシェッド	(活用型: 発注者指定型																			
	8																						
	9																						
	10																						
	11																						
	12																						
	13																						
	14																						
	15																						
	16																						
	17																						
	18																						
活用効果調査結果	ケース番号及び年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)		
	項目	H18	H19	H19	H19	H22	H23	H25															
	施工時評価	経済性	C	B	A	B	B	B	C													B	C
		工程	B	B	A	B	B	B	B													B	C
		品質・出来形	A	C	B	B	B	C	A													B	C
		安全性	B	B	B	A	B	C	B													B	C
		施工性	A	B	B	A	D	B	B													B	C
		環境	B	A	A	B	C	A	B													B	C
	その他																						
	総合評価点	B	B	B	B	C	B	B													B	C	
	今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	-																				
		活用を検討したい	-																				
		場合によっては活用することもある	-																				
		技術の改良を強く望む	-																				
	優位性における判定																						
	A 従来技術より大幅に優れる																						
	B 従来技術より優れる																						
	C 従来技術と同等																						
D 従来技術より劣る																							
追跡調査の必要性		-																					
追跡調査		-																					